

# 対加投資の問題と有望性

## 投資環境調査団の報告より

昨年三月、通産省は外務省、日本貿易振興会、日本在外企業協会の協力のもとに、同省としては最大の海外投資環境調査団（団長の森山信吾通産省顧問以下、総勢三十四人。現地参加者を含めると三十八人）をカナダに派遣した。約二週間にわたる調査の結果は、日本在外企業協会が報告書としてまとめたが、この中で森山団長は次のように対加投資の有望性を述べている。

「総じていえば、わが国企業にとってカナダは中・長期的にみてかなり有望な投資対象国であるといえよう。もちろんわが国からの投資がさらに拡大するためには、現地での事業活動を円滑にするための諸条件が一層整備される必要があることはいうまでもないが、投資それ自体による見返り以上の何かが期待できる潜在的な発展性を秘めた、若さに満ちた魅力あふれる国だ、という認識を新たにしたい。」

同団長は、カナダが連邦・州ともに日本企業の進出を熱望し、特に製造業に対する投資によって「資本・技術の導入、雇用機会の創出、輸出の振興等を図り、産業の多様化と高度化を期待していることに強い印象を受けた」と述べた。カナダが進出を希望する業種としてあげたのは、航空機、エレクトロニクス、ロボッ

ト、バイオインダストリーなどの先端産業、石油化学、自動車関連産業など、多岐にわたったという。

カナダに投資する際の第一の問題として、森山氏は外国投資審査法(FIRA)の審査基準が不明確でかつ審査期間が長いことなどをあげた。これらの点については、調査団の帰国後、大幅に改善されている。しかし報告書でも、同氏は「FIRAの存在が対加投資の決定的な障害になるとは考えられない」と述べている。

そのほか、資源エネルギーについては「豊富で比較的低廉」であるが、連邦と州の間に基本的な考え方の差があると指摘し、労働事情については「量、質ともに特段の問題はない」、インフラストラクチャーは国土が広大なために整備に度合いの差はあるが、「今後の一層の整備に関係者の熱意が感じられたという。」

なお報告書は、日本からの長期投資および合弁事業の候補となる業種として、①高度技術産業②アルミ精錬③重電および弱電④電気機械⑤石油化学（特にエチレン系製品）⑥エネルギー・鉱業（特にメチルアルコール、フェロシリコン、フェロマンガン）⑦自動車部品（特に天然ガス、アルミ、ニッケル、アスベストをエネルギーまたは原材料として使用するもの）をあげている。

《主な対加進出日本企業》

日本側企業名(出資比率・%)	カナダの投資企業名	資本金	業種・事業内容	所在地	ファイナンシャルポスト500の中の順位
伊藤忠商事(100)	CIPA Industries Ltd.	1,301万C\$	伐木製材	B.C.州バンクーバー	131*
伊藤忠商事(100)	C. Itoh & Co., (Canada) Ltd.	860万C\$	商事	オンタリオ州トロント	
王子製紙(25)、三井物産(8)	NBIP Ltd.	5,050万C\$	紙の製販	ニューブランズウィック州ダルハルシー	
カナダオイルサンド	Nippon Steel Development Canada Ltd.		オイルサンド開発	アルバータ州アサバスカ	308*
兼松江商(100)	Naden Harbour Timber Ltd.	1,000万C\$	伐木製材	B.C.州バンクーバー	
兼松江商(100)	Kanematsu-Gosho (Canada) Ltd.	261万C\$	商事	オンタリオ州トロント	
新日本製鉄(100)	Nippon Steel Development Canada Ltd.	1,100万C\$	石炭鉱山業	アルバータ州カルガリー	275*
新日本製鉄ほか大手鉄鋼各社、三菱商事(33.4)	BC Coal Ltd.	1,825万C\$	石炭の採掘・販売	B.C.州バンクーバー	
鈴木自動車工業(100)	Suzuki Canada Inc.	950万C\$	二輪車の輸入、販売	オンタリオ州ダウンズビュー	
住友商事(100)	Sumitomo Canada Ltd.	300万C\$	貿易商事	B.C.州バンクーバー	127*
ソニー(49)	Sony of Canada Ltd.	1,026万C\$	自社製品の販売	マニトバ州ウィニペグ	
大昭和製紙(50)、丸紅(50)	Daishowa-Marubeni International Ltd.	1,200万C\$	パルプ輸出	B.C.州バンクーバー	
大昭和製紙(40)、大昭和海外開発(60)	大昭和カナダ	1,630万C\$	木材パルプの製造、購入販売	B.C.州バンクーバー	405*
トヨタ自動車(50)、三井物産(50)	Toyota Canada Inc.	1,000万C\$	自動車の輸入、販売	オンタリオ州スカバラ	
東洋工業(60)、伊藤忠商事(40)	Mazda Canada Inc.	1,300万C\$	自動車販売	オンタリオ州ピッカリング	
東洋紡績(23.5)	Consoltex Canada Inc.	1,645万C\$	織布、ニット、染色加工	ケベック州モントリオール	168*
日魯漁業(50)	East Coast Fishing Co.	5,000万C\$	トロール漁業	ノバスコシア州ノース・シドニー	
日産自動車(100)	Nissan Automobile Co. (Canada) Ltd.	1,800万C\$	乗用車・トラックの輸入、販売	オンタリオ州トロント	
日商岩井(100)	Nissho Iwai Canada Ltd.	2,335万C\$	貿易業	オンタリオ州トロント	338*
日本オイルサンド(88.9)他	Japan Oil Sands Co. Primrose Ltd.	1,436万C\$	石油、ガス資源探鉱	アルバータ州カルガリー	
日本軽金属(50)	Alpac Aluminium Ltd.	2,450万C\$	アルミニウム委託精錬及び販売	ケベック州モントリオール	
日立家電販売(100)	Hitachi (HSC) Canada Inc.	120万C\$	本社製品の卸売販売	ケベック州ポワント・クレール	431*
プリンスホテル(100)	Seibu Canada Ltd.	1,270万C\$	ホテル賃貸業	オンタリオ州ドンミルズ	
富士通(24)	Consolidated Computer Inc.	2,300万C\$	コンピュータ周辺機器の生産	オンタリオ州ドンミルズ	
本州製紙(27)、三菱商事(27)	Crestbrook Forest Industries Ltd.	3,067万C\$	パルプ、製材、合板	B.C.州クラムブルック	122*
本田技研工業(100)	Honda Canada Inc.	1,000万C\$	ホンダ製品の輸入販売	オンタリオ州トロント	
丸紅(100)	Marubeni Canada Ltd.	1,000万C\$	商事	オンタリオ州トロント	
三井鉱山(22.5)、東京貿易(22.5)	Quintette Coal Limited	2,451万C\$	鉱業	B.C.州バンクーバー	120*
三井物産(100)	Mitsui & Co. (Canada) Ltd.	2,025万C\$	商事	オンタリオ州トロント	
三菱商事(100)	Mitsubishi Canada Ltd.	1,014万C\$	商事	B.C.州バンクーバー	

以上のほか、東京、三菱、三井、富士、住友、第一勧業、日本興業の各銀行も進出している。

資料：「週刊東洋経済」1983年臨時増刊号「海外進出企業総覧」より  
\* 数字は「ファイナンシャル・ポスト」誌の1983年カナダ企業上位500社の中の売上げ順位。